

「Y-PORT 事業」を通じた企業の海外展開実現を目指して 様々な関係者による対話『共創 Y-PORT ワーキング』を開催しました。

～ 海外都市の現状と JICA の民間連携事業について ～

新興国等における都市課題の解決や、市内をはじめとする企業の技術を活用した海外展開の促進に向けて、関係者間の対話の場「第 2 回共創 Y-PORT ワーキング」を開催しました。

市内中小企業、建設コンサルタント、エンジニアリング企業、新聞社、銀行、大学など幅広い分野から 50 名を超えるご参加を頂きました。

ワーキングでは、フィリピン国セブ市の都市状況や、国際協力機構(JICA)による民間連携事業に関する情報提供を行い、企業による都市インフラや環境事業の形成に向けた活発な意見交換が行われました。

1. 日 時：平成 24 年 6 月 8 日(金) 14:00～17:00
2. 場 所：関内フューチャーセンター（横浜市中区北仲通 3-33）
3. 参加数：55 名（民間企業等 50 社）

4. 講演内容

- | | |
|-------|--|
| ①情報提供 | 海外都市の現状について（フィリピン共和国セブ市をモデルとして）
発表者：横浜市政策局共創推進室、資源循環局、環境創造局 |
| ②講演 | 国際協力機構(JICA)の民間連携事業について
発表者：国際協力機構(JICA)民間連携室 |
| ③意見交換 | 海外インフラ事業の形成に向けた意見交換 |

5. 参加者の意見及びアンケートの結果等

(1) 主な意見交換内容

以下の話題・関心等に対して、参加者から多数のご意見を頂きました。

- ・参加企業の具体的な事業・技術等に関する情報について
- ・中小企業の海外展開における中小企業とコンサルタントの連携について
- ・企業マッチングに必要な情報を如何に共有化していくか

(2) 参加者からのアンケート結果

回答者 36 名中 31 名（86.1%）から「大変満足」・「満足」の感想を頂きました。

参加者からは、「セブ市の現状や課題について、具体的に説明されたので分かりやすかった」、「JICA の支援制度の活用を考えるきっかけとなる内容だった」等の感想を頂きました。

6. ワーキングの様子



横浜市の発表



横浜市の発表



質疑応答の様子



JICA 民間連携室の講演



全体を通じた意見交換



ワーキング後の参加者間の交流

7. 次回ワーキングについて

次回（第3回）ワーキング開催は8月を予定しており、内容については以下のホームページに順次掲載してまいります。参加受付は開催1か月前を目途に開始する予定です。

共創 Y-PORT ワーキングホームページ URL :

<http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/kyoso/yport/yport/yportworking.html>

お問い合わせ先

横浜市政策局共創推進室国際技術協力課 中村、正岡 TEL 045-671-4396